

総胆管結石に対する一次的切石術における ERCP 後膵炎の発症リスクについての後ろ向き検討に関する研究

1. 研究の対象

2012年4月～2018年3月までに総胆管結石症に対して ERCP を行なわれ初回乳頭例かつ乳頭切開術もしくは乳頭バルーン拡張術を行われた方。

2. 研究目的・方法

目的：総胆管結石症に対する内視鏡的一次的切石術 ERCP の ERCP 後膵炎の発症リスクについて多数例で検討すること

意義：総胆管結石症に対する ERCP の合併症リスクを減らすことができる可能性がある。

方法：一次的切石群と二期的切石群の2群に分け、ERCP 後膵炎の発症に関わるリスク因子(年齢、性別、適応疾患、胆管挿管の方法や時間、傍乳頭憩室の有無、膵管誤造影、胆管径、乳頭処置の方法、予防的膵管ステントの有無、予防投薬の有無、術者の経験年数など)を単変量・多変量で解析し、プロペンシティスコアを用いた多変量解析で、一次的切石群と二期的切石群の ERCP 後膵炎の発症リスクを比較する。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、治療歴、合併症等の発生状況等

4. 外部への試料・情報の提供

なし

5. 研究組織

済生会熊本病院 消化器内科 門野義弘

熊本中央病院 消化器内科 齊藤宏和

熊本市市民病院 消化器内科 多田修治

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒861-4193 熊本市南区近見5丁目3番1号

電話 096-351-8000 (代表)

研究責任者：済生会熊本病院 消化器内科 門野義弘

研究代表者：済生会熊本病院 消化器内科 門野義弘

以上